

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	東神吉南小学校
-----	---------

1 教育目標 「自ら考え、やりぬく子を育てる」 ひとりひとりを伸ばす教育を基盤にすえ、「未来への道を切り開く力」の育成

2 基本方針
 知・徳・体の調和がとれた、こころ豊かで自立する人づくり
 ーたくましく「生きる力」を育てるー
 ○知…自ら学び よく考える子
 ○徳…思いやりのある すなおでやさしい子
 ○体…心身ともに健康で たくましい子

3 指導目標(めざす児童像)

1.「確かな学力」を培います	2.「豊かな心」を育みます	3.「健やかな体」を育みます	4.特別支援教育の充実を図ります
5.教職員の資質能力の向上を図ります	6.安全・安心な学校づくりを推進します	7.開かれた学校、地域とともにある学校をつくります	

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
特別支援教育の充実	⑱「なかよし学級」について児童に正しく理解させ、共に生きる心や思いやりのある心を育成した	B	交流児童だけでなく、全てのなかよし児童との交流の機会を早い時期に行い、思いやりの心を育む
教職員の資質能力の向上	⑳研究テーマに沿って、校内研究が効果的に実施された	A	今年度、大きく形を変えたので、学年末の反省を生かし、来年度はさらなる推進に努める
安全・安心な学校づくり	㉓学校生活適応推進委員会やケース会議を通して、問題行動や生徒指導上の課題を全教職員が情報共有し、組織的に対応した	B	課題をいち早く全体で共有し、学校生活適応推進委員会等で決定した事を元に対応していくことで拡大防止に努める
開かれた学校づくり	㉖学校園ユニットやなかよし農園運営委員会、シニアクラブ等との連携を工夫したり、学校運営協議会の意見や学校関係者評価を活用したりすることができた	A	各種団体からの意見や学校運営協議会の評価等を精査し、様々な活動を通して開かれた学校づくりを推進する

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
一定数の職員は、特別支援教育の取組がうまくできていないと感じている。交流は多様な人間関係を理解し、人間の幅を広げる。先入観のない低学年から交流の機会を多く持つような改善が必要。	B
参観授業等から、授業内容にも工夫が見られる。多くの教職員が校内研究が効果的に実施できたと評価している。来年度も新たな形が成果を上げること期待する。	A
課題を早急に情報共有できる環境は良い。個々での対応は非常に難しいので、組織的な対応をさらに強化することを期待する。	B
スクリーンによる学校便りの配信は、学校行事や生活の様子がよくわかり、評価大。なかよし農園をはじめ、地域との関係を適切に構築できている。またその連携により子ども達も地域で支えられていることを実感できている。	A